



# ソニーの気候変動への取り組み

ソニー株式会社  
CSR部  
富田 秀実

## 地球温暖化問題に関するソニーと WWFジャパンのパートナーシップ

- ・ **グリーン電力証書システム立上げに積極的に参画**
  - ソニー: 制度の提案 & 最初のユーザー
  - **WWF**: 証書の認証を行う「グリーン電力認証機構」に参画



- ・ **2005年2月に銀座ソニービルで  
京都議定書発効記念イベントを  
実施**

- ・ **ソニー・ミュージックコミュニケーションズと  
WWFの共同プロジェクト『ビルのCO<sub>2</sub>削減  
大作戦』(2006年)**
  - 環境省の地域協同排出抑制対策推進モデル  
事業の一環として、オフィスビルからのCO<sub>2</sub>削  
減事業を実施



# WWFクライメート・セイバーズ・プログラムへ参加 経緯と目的

## WWF

- ・ 政府、産業界、一般市民等の大幅なGHG削減を求める活動を強化
  - 企業向けとして、クライメート・セイバーズ・プログラムを推進

## ソニー

- ・ 環境中期目標の改定検討
  - ステークホルダーエンゲージメントの強化を検討
  - 中長期で取り組むべき課題の整理

2005年6月 ソニーの呼びかけにより「地球温暖化に関する意見交換会」を実施

WWFよりクライメート・セイバーズ・プログラムへの参加提案、検討・交渉を開始

- 目標案の妥当性の確認
- 排出量の推移と目標案の提示

**2006年7月 クライメート・セイバーズ・プログラム協定締結**

- ・ 企業の絶対量でのGHG削減コミットメントの強化・拡大
- ・ 消費者等とのコミュニケーション

- ・ 環境目標・環境活動の透明性の向上
- ・ 環境保全活動の加速

# パートナーシップの継続的展開



with James Leape,  
Director General of WWF International  
at Climate Savers Tokyo Summit (2008/02)



碳减排先锋  
Defensores do Clima  
クライメート・セイバーズ  
Climate Savers

## 2006年7月 協定締結

- ソニーグループ全体の事業所から排出されるCO<sub>2</sub>換算温室効果ガスの絶対量を、2010年度までに2000年度比で7%削減を目指す
- 主なソニー製品の年間消費電力量を削減することにより、製品の使用時のCO<sub>2</sub>排出量を削減

## 2008年2月 「東京宣言」

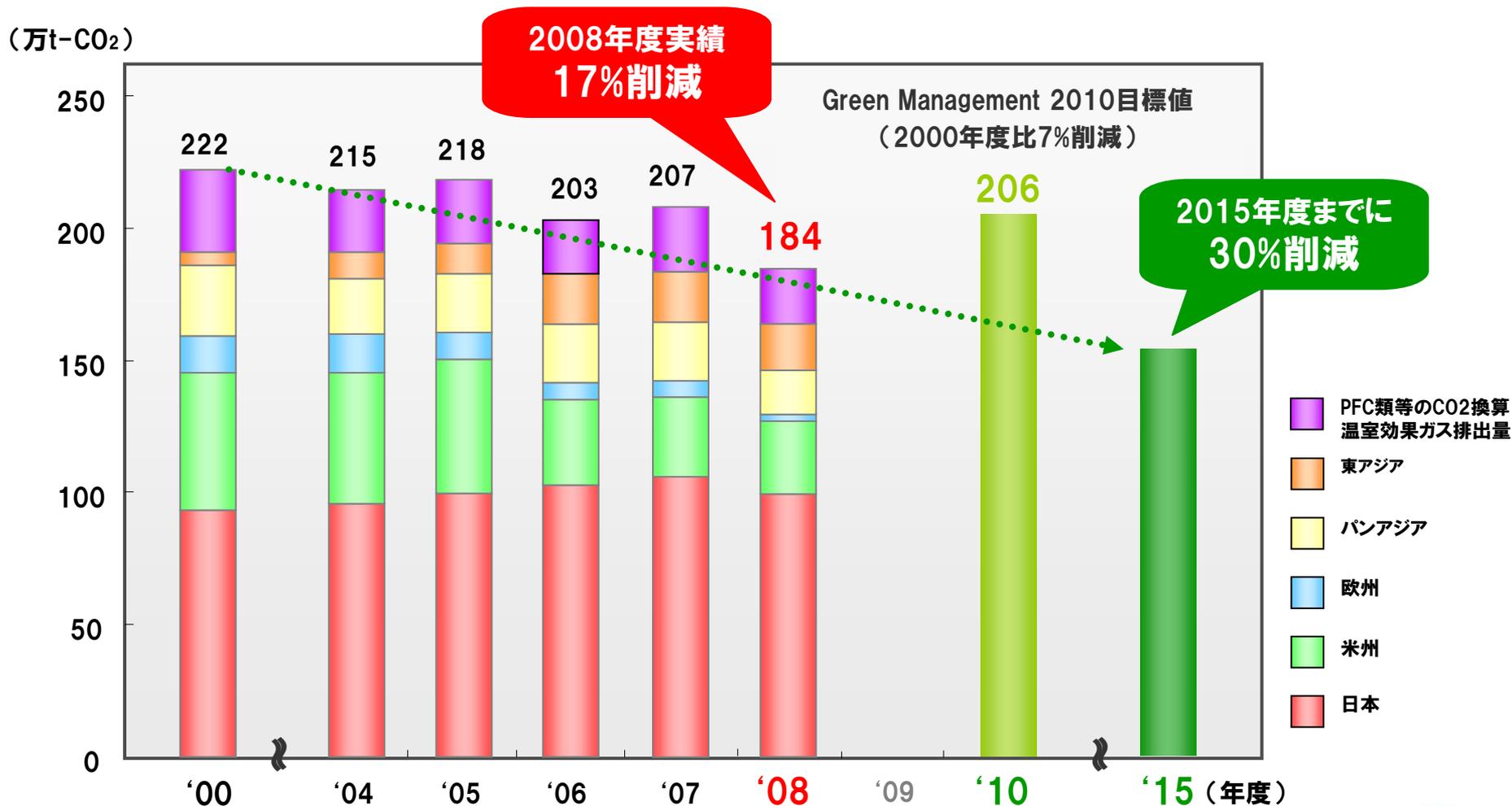
- 共同で「クライメート・セイバーズ東京サミット」をソニー本社で開催
- ソニーなど12社が「東京宣言」に署名し、低炭素社会の実現に向けたさらなる活動への決意を表明

## 2009年11月 更新目標に合意

- ソニーグループ全体の事業所から排出されるCO<sub>2</sub>換算温室効果ガスの絶対量を、2015年度までに2000年度比で30%削減を目指す
- 製品の消費電力を2015年度までに2008年度比で一台当たり30%削減を目指す

# 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

## 2015年度までに2000年度比で絶対量の30%を削減



# 本社ビルの省エネルギー

SONY

ソニーが(本社で)、はじめた未来。

For the Next Generation  
最新の省エネ、グリーンビル、ソニー本社ビル

工場で培った省エネ技術を、新しい本社ビルにも応用。  
CO<sub>2</sub>を約48%削減した最先端の環境配慮型オフィスです。

下水処理水を使用し、セントアイランドの稼働へ  
年間CO<sub>2</sub>削減率  
年間1万トンのCO<sub>2</sub>を削減。これもが省エネを追求する成果です



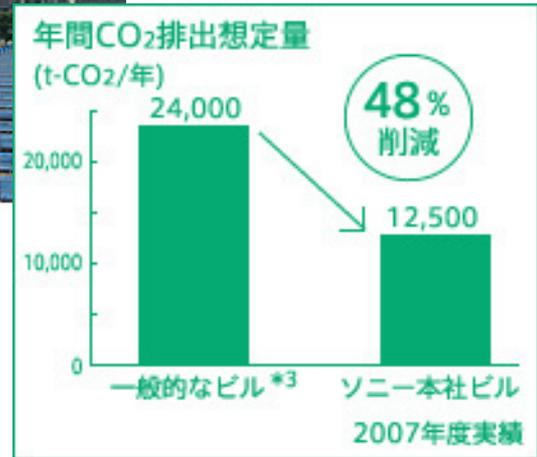
ソニーシティ空調用冷却水システム



「ダブルスキン」が採用された外壁



東京都下水道局 芝浦水再生センター



年間CO<sub>2</sub>排出想定量の比較



## グリーン電力の導入

2008年度はグリーン電力の導入により、  
グローバルで年間約9.2万トンの温室効果ガスを削減

### 欧州

すべての製造事業所と非製造事業所(100人以上)で  
100%再生可能エネルギー使用を達成。  
(約1億9,000万kWh相当/直接調達及び証書購入)

### 日本

グリーン電力証書契約量  
年間5,549万kWh

### 米国

グリーン電力証書購入量  
年間4,200万kWh

グリーン電力=「再生可能エネルギー」  
再生可能エネルギー導入による温室効果ガス削減に取り組んでいます

# テレビの省エネルギー

300 kWh/Year 以上

32型テレビの  
年間消費電力量比較



約200 kWh/Year



約160 kWh/Year



約70%

約58%

約48%

84 kWh/Year

**LEDバックライト搭載液晶テレビ**  
**〈ブラビア〉 KDL-32EX700**  
**2010年モデル**



# テレビの省エネルギー 〈ブラビア〉 EX700シリーズ

## 「LED + 省エネ」

省エネNO.1\*の低消費電力

+ 「人感センサー」搭載



かしこく省エネ

見ていない時に自動で映像オフ

電力 約80%節約 (従来機種V5シリーズは約50%節約)



通常視聴時

ON



ちょっと席を外したとき

OFF



戻ってきたとき

ON



\*2010年1月20日現在。日本国内で発売されている52V型、46V型、40V型のデジタル液晶テレビにおいて。(32V型除く)  
本シリーズは省エネ法対象外ですが、省エネ法に準じて算出した年間消費電力量に基づいています。

# VAIO Wシリーズ [エコボディモデル]



# VAIO Wシリーズ [エコボディモデル]

**再生プラスチック**  
廃DVD・CDをリサイクルした再生プラスチック(PC/ABS樹脂、再生材含有率20%)を利用

**電子マニュアル**  
電子マニュアルを活用し紙マニュアルのページ数を削減

**キャリアケース**  
環境に配慮したPCケース  
表面ブラウン生地に100%リサイクルPET材を使用

**環境負荷を減らす取り組み**

粉碎  
洗浄  
合成

VAIO

Quick Start Guide  
電子マニュアル

VAIOでは、製造工程だけでなく商品のライフサイクル全体をとおして環境負荷の軽減を目指しています。その取り組みの一環として、VAIO Wシリーズ[エコボディモデル]が登場。キャリアケースに本体と付属品を入れて、簡易カートンでお手元へお届けいたします。

## ご購入いただいた方に、WWFのステッカーを進呈!

[エコボディモデル]の売上げの一部(1台につき10ドル相当)を、世界最大規模の環境保全団体WWFに寄付し、環境保全活動を支援します。



## 環境技術の開発 色素増感太陽電池

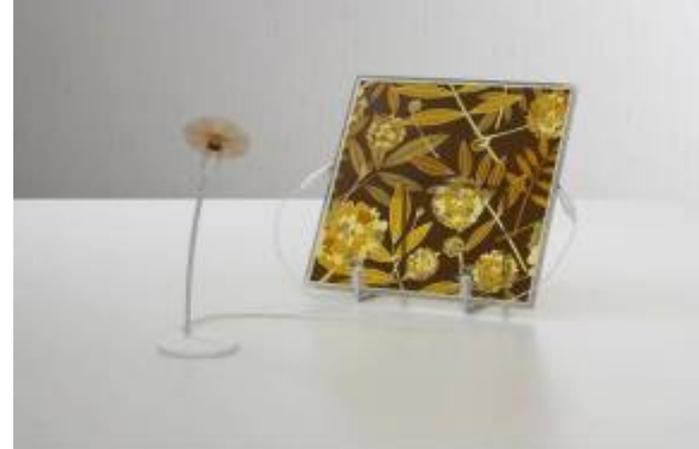
– 従来のシリコン系太陽電池と異なり、色素が吸収した光のエネルギーを電気エネルギーに変換する太陽電池

### 色素増感太陽電池のメリット

- ・ 生産時のコスト／環境負荷の低減
- ・ デザイン性



“Hana-Akari”  
インテリア照明のコンセプトモデル



“Hana-Akari” のワーキングサンプル

